

'86

秋山
個人山行報告書



信州大学山岳会

CONTENTS

★ 山行記録

	[Page]
• 小川山 ($\frac{1}{12}$ ~ $\frac{1}{15}$) _____	(1)
• 小川山 ($\frac{1}{12}$ ~ $\frac{1}{21}$) _____	(1)
• 小川山 ($\frac{1}{21}$ ~ $\frac{1}{5}$) _____	(2)
• 白馬岳 _____	(3)
• 小豆島 _____	(4)
• 穂高橋 継続 _____	(7)
• 甲斐駒 A75=个 _____	(10)
• 北岳 パットレス _____	(11)
• 屏風 ~ 滝谷 _____	(13)
• 戸隠 _____	(14)
• 屏風 東壁 ルニゴ _____	(15)
• 乾徳・黒金 _____	(15)
• 戸隠 周辺 _____	(16)
• 明星 マニ左スト _____	(16)
• 明星山 ($\frac{1}{1}$ ~ $\frac{1}{2}$) _____	(17)
• 明星山 ($\frac{1}{2}$ ~ $\frac{1}{4}$) _____	(18)
★ 作文集 _____	(19)

(下田, 瀬川, 下平, 角谷, 豊田)

9/13~15 小川山

L. 水谷. 豊田. 瀬川. 伊通

9/13

夜. 出発の予定だったが雨の連絡で
14日の朝に変更.

9/14

昼くらゐから登りに行く。コ-70-2Lは
単車への調子が悪く遅く来た。しかし
僕達が道に迷っている間に着いて
登り始めはいい感じだった。

- ル-ト。予期せぬプレゼント(水谷さんがリードしていたが
ギアが壊れ途中で75km70km)
- ・太寛民
- ・イムジリ上部。(ト、プロ-ア)

9/15

- ル-ト。小川山、レイバック(水谷. 瀬川 リード)
- ・スライジ ジェム(水谷リード)
- ・5月の雪(瀬川リード、ト、プロ-ア)

人がいなくなってしまった。ヤ、ぼり
難しくて、手にも登れなかった。5.10<5
いじりリードで走り切った。万全。
(伊通)

小川山

9/18~9/21

Member) 三野. 中村(2). 豊田.

18日 夜 入山

19日 ハ横沢左岸スラブ。シーマンスプレックス、アタックの頂上、ピッチ-21L
鬼のカワラン

20日 スラブ岩壁 ハート&ソウル

21日 スラ岩 JECC ル-ト.

雨がパラパラ降って、スラブばかりはしか作らなかった
(浩太郎)

小川山

日程) 9/21 ~ 10/5

Member) 小野、瀬川、飛田、下田、森、下平
豊田、中村(貴)

ルート名) 妹岩

カサブランカ <5.10a> ★★★

龍の子太郎 <5.9> ★

ジャックと豆の木 <5.10b> ★★★

1Pヒヨク2P目 <5.10a> ★★★

○ マラ岩

川上小唄 <5.8>

JECC <5.10d> ★★

○ 親指岩

クイジー・ジャム <5.10c> ★★

小川山レバック <5.9> ★★

天まであがれ <5.12a> ★★

○ 最高ルートの岩山

最高ルート洞穴ルート <5.8> ★

笠間のペンキー <5.10c> ★★

○ 仏岩

バナナクラック <5.11c> ★★

ローリターン <2ピッチ 5.10c> ★★

○ 左岸スラック

ブラック・アンド・ホワイト <5.10a> ★

シヤマンズ・アプレックス <5.10b> ★

※「ハードフリーは遊びじゃないんだ！」

もう一度だけ言う

ハードフリーは遊びじゃないんだ!!」

by ジョウ 5.13

白馬岳

Member) L 作業 一瀬, 下平

9/25	7:00	①	猿倉
	7:40		白馬尻山荘
	12:30	②	頂上宿舎 T.S
	14:45		T.S 飛
	14:45		白馬岳 頂上
	15:10		TS

* 途中 ポルゴ- をしながらの3の3登天, 頂上宿舎の300m程手前には IT-2007の息子の跡が残り, 尾根の7707が足, 7112 登れようとしたが 高山植物保護の立看板があり 登るには勇気が必要だ。

9/26	7:30	①	TS
	8:25		杓子岳
	9:20		白馬鍾
	10:55		鍾温泉
	12:55		杓子尾根
	14:00		猿倉

* 杓子岳の杓子尾根, 杓子尾根を確認して冬に登るかと思っていた。天気は良く温泉は最高だった。

17、小豆島

Member L, 三野 中村,

9月26日

昼に吉田のキャンプ場で待ち合
わせて吉田の岩場の下のボルダ
で遊ぶ。

27日

吉田の岩場

骨折り男のクラック 5.8 L 三野

モンキー フリップ 5.7 L P 中村

2 P 三野

28日

小豆島の仁寿峰

O.Kダイレクト 5.10 b1 三野

フレッシュタイム 5.10 a1 三野

ポップアップ 5.7 L 中村

ビッグフレック 5.6 L 中村

トップロップでもらさきフレス

29日

吉田の岩場

クロスクラック 5.7 L 三野

コタロウズクラック上部 5.6 L 三野

関西の岩場、白山、後援参照
曇かったがなかなか楽しい岩だった。

中央アルプス 西横川

9/29(月)

Member)	La	加藤	飛田
記録)	7 = 45		15分平
	7 = 50	①	出合
	8 = 40		30分大滝
	10 = 30	①	終了
	13 = 35	①	北横所口

* 出合のえん堤を右から越え、ついでつづき、滝は全て急登
下り、あとつづき、奥の二股に巻いた、最後の30分大滝を
急登、右から越え、そのつづき、長谷部新道に下り、軽井沢
に近いところから、えん堤を越え、斜道が下り、
つづき、注意、また長谷部新道は、とこざとこざと
不明なところがある。ルートは、天赤と今照
小川山下、痛めた左足道に下り、爆発して登った
(飛田)

前穂 IV 峠 正簡壁 松高川上

Lo. 豊田. 作道

10/1

- 12:15 ● 上高地発
- 13:40 ● 徳次
- 14:25
- 15:00 ● 西宿). 7往 雨日全然及く存心
新村橋を渡り 11時30分 河原
に T.S. 決定

10/2

- 6:00 ◎ T.S. 発
- 7:00 ● 松高尾根の山頂
- 8:40 ◎ 奥へ自走
- 9:10 ◎ 岩の森) 正簡壁と川上と説明
17:45 川上にて 取付付道を行く
地へ戻り 終了

10/3

- 5:40 ◎ T.S. 発
- 6:50 ◎ 取付付道
- 7:30 ◎ 取付付く) 川上は 又赤とスリ
- 11:30 ◎ 終了
- 13:00 ◎ 5.6 の川 遊覧
- 14:30 ◎ T.S. 着
- 17:00 ◎ 徳次. 三宅 工場の会
工場の川に 橋を渡り 僕が帰る

西の川上. 1本1本登山道. 今1本も 寒くて
凍つて 川上に 登山道が 出来た. 巧み カ不足
と云ふこと. 10/27日 下流 川上 便に 来た.
(作道)

付下掘く荷をお317 07-7ウニ17 何と云越え3. 今の先5m程下ー1m
 終)と782m. 50程のいぬにも抜けやう782mの連続! 最後の
 一本の抜47. 臍をつぶ171307... (2:00) 午: ぬら更に 2P
 (30m x 2). 下ルにせの岩屋につく. 307より更に 4P7
 頭への道につく (17: 307 敷こま) 5:00 〇

・ 屏風の頭 5:40 〇 とにかく樹林帯に時間を使う
 ・ " コル 6:40 307に注意!!

コルでヘッドラをとる

コルから洞沢へ直接下71307. 途中の沢で テントを畳み
 7:00 〇

10/4 ・ 下 7:15 〇 昨日の登山で出発を遅らせる

・ 洞沢キャンプ 7:50 〇

ヒョウチカラ 現地の森をた(を17. 清水RCC から L字洞穴に
 ルートを変更する

・ 洞沢のコル 9:10 〇 洞沢からの道は good!

・ 奥と洞沢との出合 10:00 〇 ガスのため洞沢へ下り 5分入る
 1307. 今セルを捨てて朝9時

・ L字洞穴 11:00 〇 3P. 30m. 40m. 31m (A)

(ルート図はあり) 7:14 可能!
 天気悪し (7:14 4.5.5.5.5)

終了 12:30 〇

・ 洞沢のコル 1:20 〇

・ 洞沢キャンプ (下) 2:05 〇 今日 L字洞穴に変更
 (1307...)

10/5 ・ 下 6:10 〇 南岳とびた35の35 2:05

・ 北嶽小屋 8:05 〇 天気は最高 途中T光の洞窟と合々

す(下)B沢の下段にうつる 穴 P2 フラニケ穴と下ルルートに
 入って1307. 2P 午: 更し

・ フラニケ尾根取付 11:00 〇

3P T-1日ヶネのコル 1P リンチ 1P T-3日ヶネクラフ (A)

3P T-カレ場大テラス 1P 後線

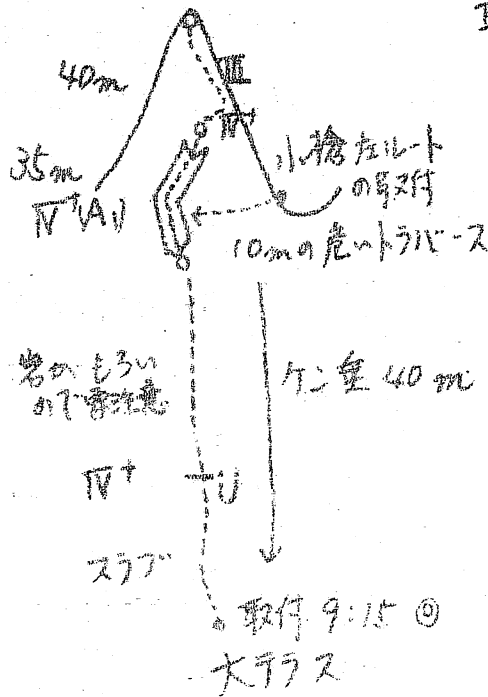
終了 1:40 〇 (図はルート図と同じ)

・ 北嶽小屋 1:45 下り 槍ヶ岳 2:05 〇

・ 南嶽小屋 3:40 〇 → 中岳 4:25 〇 → 殺生ヒョウ 5:40 〇
 (下)

殺王に着いたときは、目まはすおし。足元も、うら、くら、と
に、かく、大サットを、め、な、って、は、い、かん、よ、...、

10/6 昨夜のうちに検討して西横への取付は小槍サットに垂して
行うことに決めろ
・下 1000 ㊦ 昨日の暮れまでのこったよ～!
・肩の小屋 10:20 ㊦



取付へは、北鎌平の、の、杖、沢
サットの二本が、あ、の、小槍左サット
10m 左へ、あ、の、バントを
トラバースすれば、西横サットの
途中に出る。その、から、40m ぬ
っ、の、に、垂、して、大テラス。
・取付 9:15 ㊦
10月の 40m は、岩が、非常、に、
む、さ、い、の、に、注意、ピン、は、豊、富、
に、あ、る。
2月、VA2) は、う、き、は、な、い、!!
フリンス、4、5、6、2、歳、あ、い、は、
フリ、化、の、可、能、と、思、わ、れ、る。
ピン、は、さ、い、な、い、か、ま、い、つ、た、
3月、は、最、初、IV+、く、ら、い、た、の、
サ、の、III、の、下、の、サ、ット、に、あ、る。
・終了 10:30 ㊦
11:25 → 12:05 ㊦
14:30 ㊦、申、合、わ、せ、た、お、し、に、再、度、文、
部、に、お、い、あ、い、
・上高地PT. 5:10 ㊦ → 松本へ。

感想 じ、い、かく、成、功、し、て、う、れ、い、い、。、た、た、テ、ト、コ、ラ、フ、コ、ン、ベ、ル、に、
豊、富、に、あ、い、た、た、め、自、ら、自、ら、大、ス、ラ、フ、な、ら、な、か、ら、し、て、可、い、
し、た、。、槍、面、積、に、関、し、て、は、ア、ロ、ー、ナ、は、小、サ、ッ、ト、か、ら、直、接、い、
の、か、ま、い、こ、と、の、か、ま、い、た、。、来、年、の、新、人、合、宿、に、は、フリ、化、で、
ま、り、ま、い、い、。、フリ、ス、を、も、つ、て、い、く、さ、い、!!、お、い、水、谷

甲斐駒 A7ラング 赤蜘蛛ルート

L. 角谷 森

1% 7:45 仙流荘 ○
 8:25)
 11バス
 9:40 北沢峠
 13:30 甲斐駒 ◎
 14:20 八合目岩小屋



1% 6:40 岩小屋 ◎
 7:50 取付
 8:30)
 1P 20m AI
 2P 40m V 大ジエナ
 3P 35m AI V字ハナ
 4P 10m TV
 11:15 大テラス ◎
 5P 20m TV+
 6P 35m AI 垂壁
 7P 25m AI
 8P 25m TV AI
 14:40 終了
 15:00 A7ラングの頭
 15:55 八合目岩小屋 ◎

1% みぞれのため下山
 7:45 岩小屋
 11:15 北沢峠



八合目の岩小屋は、何ヶ所あるので、一つがふさがっていてもあきらめずほかを探
 こと。(甲斐駒から下ると、剣の立木岩があり、登山が鳥帽子岩である)
 ・木は、氷バネを10分程トランスし、奥壁をルンゼで出たが、
 常に抜けるとは限りません。
 今日は、下山のとき、甲斐駒山頂は雪で、足跡靴で少し残った。
 人気ルート「おじ」はやくとリッパしよう。
 ・岩小屋は A7ラングの頭や取付にもある。

記入: 森

10/9 ~ 12 北岳 バットレス

L. 三野 豊田 小野 中村ユ 下平 作道

10/9

小野ユと 中村ユユは 明日 入山になる。

11:55 ① 広河原 発

12:35 ① 突然、作道が吐く。途中の
「ヤマギテツリ」を買った弁当が
悪かったようだ。ふじ、あの
コ-90-ユまで吐き気を催した
のだから、どうなるか。

14:00 ① 白根 御池

10/10

AIR-TR- L. 三野 作道

押つらつ。第4尾根主稜 中央稜1-2111ト

(カ)リ-奥壁

5:00 ① T.S. 発

6:30 ① 取り付く

7:00 ① 取り付く) 11トは天系とより

9:30 ② 終了) 40, 4 (20, 30, 35, 20)

10:30 ② 4尾根に 取り付く) 11トは天系とより

15:00 ② 終了

15:25 ② 北岳頂上

16:45 ② (雨) 2135 T.S. 着

4尾根は混んでいた。稜化部で 前のAIR-TR-が 7リ-7リ
ミグ、ゴッゴといて 全然進まない。ふかけで
中央稜と (カ)リ-奥壁へは 行けなくなった。
(作道)

10/ B 1P-11-1 L 豊田, 下平

C 1P-11-1 ~ 第四尾根 ~ 中央稜

5=10 ○ TS
6=30 取付
7=05 登攀開始
8=50 ◎ C 1P-11-1 終了 (3P 大茶臼あり)
10=00 第四尾根開始
14=35 終了 (8P 大茶臼あり)
15=25 北岳 雪がふりよくなる
16=45 ● TS

先行 1P-11-1 があり、とにかく遅い。核心部でフリークライミング
まで至っている。三野先生は聞えるようにグツグツ文句を言っ
た。岩はつるつるで恐ろしかった。時間的にも中央稜
は無理と判断、中止した。

10/10 小野、中村

11:00 ◎ 広河原発

12:30 ◎ 白根御池着

10/11

起きたら雨だ。たのび、下山することになる。

9:00 ● 白根御池発

10:30 ◎ 広河原

雨が降った残念だが、1日でも登山が
良かった。バットはやはりカッコイイ。
来年も登山に行きたい。

(作道)

屏風岩 1 心世. 滝谷 (75.7 尾根, D-2 中央核)

Member) L 中村(2), 豊田

10/3 16=00 徳沢で待合世
17=00 横尾山荘

10/4 5=10 ① TS 発
6=30 ② T₄ 尾根末端
7=00 ③ 取付 (116=00)
11=30 ④ 中間台地
14=30 小雨 終了
14=45 ⑤ 屏風の頭
16=15 ⑥ 湍沢

取付から数分、今日は D-2 を直上から登るが、加圧ポイントが少い。中間台地の手前 3P の核心だが、少し急な傾斜の手前 1P が少く、難しい。荷物が重くてはじめて。

10/5 6=15 ① TS 発
8=15 ② 前線下流 荷物を下す
9=00 ③ B 沢の 3P
10=10 ④ 取付 (75.7 尾根)
13=06 ⑤ 終了

10/6 日 雨(多量)。B 沢の下降は比較的よく、途中に 1P の降量。E の 3P 踏破の注意が必要

10/7 7=00 TS
8=30 取付 (D-2 中央核) 中央核発着
9=50 終了 上から取付まで
10=30 TS
11=15 TS 発
12:05 ~ 12:41 滝沢
12=00 横尾山荘
17=15 上高地

戸 隠

10/11

水谷 中村 (左) 内田

西条 トノ尾根

- 7:30 ● 出発 上柳川七川に車を止め
- 8:50 ● 一本 台地 林にならな 野の上部
- 10:00 ● ひき 帰らず 雨と風が強かた
- 11:17 ● 一本
- 11:23 ● 宝光社に降りる

今回は初めは霧死りの気配に上か、予定した
 のたが、朝からあまにくらえたため、予定通り
 出かけることになった。しかし天気が悪く、また山道は
 かなり強い風が吹き出した。山道は、雨も降
 るので、山道を降り、途中、予定した宝光社
 には着て休めた。もう少しなせか雨は、宝光社
 に向かう道を現に戸隠、山道は、宝光社
 に入れたらた。

(内田)

屏風、東壁ルニセ

Member) L△ 角谷, 三野

10/17 7:00 ① 徳沢園出発
8:30 取付
9:30 2P 登ったらず、⁰ベルが張って 難しいの
下山を決定
10:30 〇 取付 (けんい2P)

前日、前2日に雪が降ったため、天気は良かったのだが
ホールド、スタースには雪があり、スタスは氷でツルツル
になっている。Ⅲ級ぐらいだが非常に気をつけて登った。

乾徳山 ~ 黒金山

Member) L△ 内田, 作道, 下平

10/25 9:22 〇 乾徳山 登山口
11:55 水場
12:30 乾徳小屋 TS

10/26 6:10 〇 TS
7:20 乾徳山
8:25 笠盛山
9:50 ① 黒金山
13:40 西沢山荘

富士山が美しく感動したが、西沢沢谷での観光
客の多さには閉口した。

戸隠 周辺

日時) 10月26日
Member) 水谷 安田
8:30 あけぼの発

↓ 車

10:30 戸隠牧場 ①

11:30 一不動

↓ 雪があり道がぬかる。211F。

12:35 五地蔵岳 ②

13:10 一不動

14:00 戸隠牧場 ③

秋山をのんびり歩こうと思、211Fがいはのぼり=下ると711F=又
しを登りしてせ他の山頂から駆け上がり、211Fが自分の足で
最初は高き、2等まで行こうと思、211Fが雪があり、その場所。

○明星山 マニフェスト トレイル

Member 角谷 下田

10/25 9時 2組の台記 入山 12時

- 10/26 ○ 7:30 小滝川を迂り 取付点へ
- 11:40 上部城塞 下のテラス } 6P
- 2:40 終了 } 6P

211Fの電圧トランス 3P
南麓の崩落

明星山

日時) 11月1日 ~ 3日
 Member) △ 安田 豊田
 行動記録)

・11月1日

5:30 起床 ○
 7:10 T.S 出発 ○○
 7:45 取付 ○

左岩稜上 } 10P + コシテ

12:30 大岩 ①
 14:00 小滝川 ①
 14:10 T.S ①

・11月2日

5:30 起床 ○
 7:20 T.S 発 ①
 7:30 取付着 ①
 8:10 取付 先行10分-3

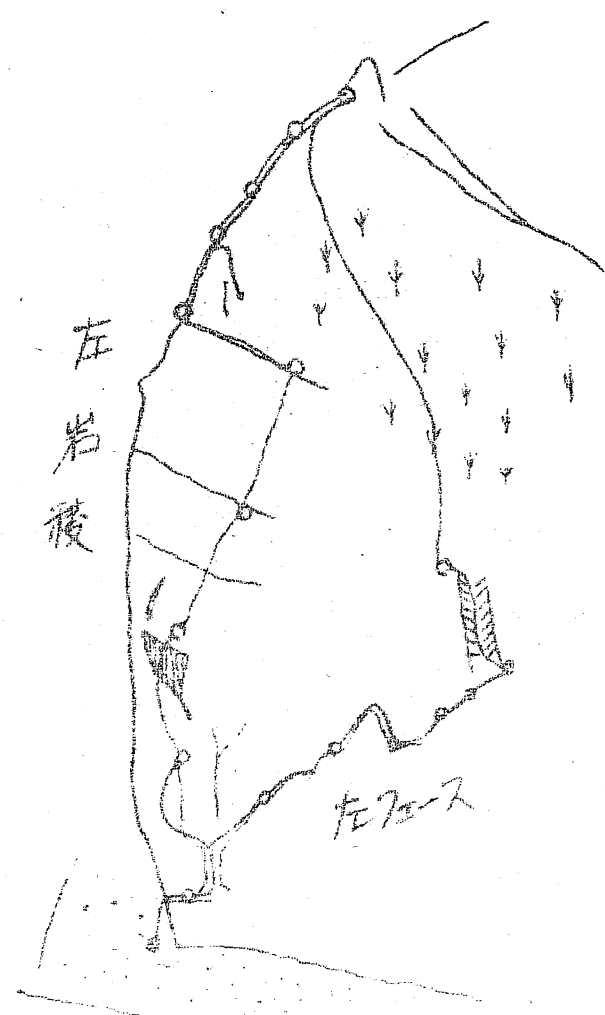
左7左-ス } 12P + コシテ

13:00 大岩 ②
 14:30 T.S

・11月3日

長野に帰りました。

小滝川



天候がよく 登山者よりクワイミ-ブができた。下降は大岩から左のカシ
 を1P(30m)のぼり そこから斜面のブッシュの中を大さくトラバース
 して下から上りた。

明星山

11/7 ~ 11/9

Member) L 下田, 水谷, 豊田, 中村(7), 中村(2), 内田, 下平,

11/7 下田, 中村(7), 内田, 下平で入山.
展望台に設営.

11/8 雨の為, 泥殿
水谷, 豊田, 中村(2) 入山

11/9 正面壁ルート L 下田, 豊田, 下平

7:50	◎	TS
8:10		取付 (先行パーティ = 青)
9:00		登攀開始
16:00	●	終了 SP, J=7分, 凍り
17:00		TS

アゲミトラバースとアゲミビレイなどを経験できたが、中村(7)人工
とヤシの極端に湿るなど、特に人工の縛り玉(5号)は流る
石灰岩という岩はとこどこにトゲトゲがあり、
とホールドに便、たゞ猛烈に痛かった。濡れた水通管
と渡るのが恐ろしかった。

作文集

「^サ燕岳同盟」(注、)

俺、北野哲平。21歳、独身、悪人だ。いろは
しがなハサラリーマン。ひょんなことから、この事件は
起きた。

9月の終わり、まだ俺は小川山の〇〇ルート、
XXスラブ、△△クラック等の今年1年を締めくくるクワイゼン
の数々を思い出して、一人でニヤニヤしていた。

そこへやって来たのが例の事件だ、た。

何となくそう俺は、セカンドビジネスとして、信州
大学の学生、サードビジネスに、私立探偵をやっている
のだ。運がハハハのめ、悪ハハハのめ、さ、ぱり俺はほ
わからず。しかし今日のクワイゼントが、信大の教養
部だ、た、た、た、俺は無料で働くことにした。

さて事件の真相が、9日ほどにわけて、

F。ヘリコプター(機)「クワイゼント」の奴らが終わら
せてくれた。ホド、ホド、ホド、た、た、た、た、た、
結果は大歓迎だ。しかし自分としてがんば、た、
黒ハハハのキニグのホルビスヤ、前巻ジゴロのめ、さ、
達にはどうやって報酬を出せばいいのだ。

俺も含めて、エージェント全員、いろんな意味で
得子そのがあた、た、た、た、た、た、た、た、た、た、
山の標語、

— ホケットに、いつを持。23. 化粧品 — (19)
J. Rohn

10/5

異常なまでに青い空に程々の紅葉が映えた朝、小屋の手前にはカマが数多く並んでいた。南嶺を登る途中、昨日一ルを登ってきた造太郎とゆかりに会う。北下小屋の前に荷物をデポし、滝谷クワツ尾根へ。肩負と同様僕らも滝谷を歩いたが、カスでいて寒く、岩は濡らして、落石は絶えずおこっている岩の墓場のようなところ。シヤブクワツのビンゲルをすしおれろく感じた。おとほ20年前の岩登りという感じがした。造太郎パーティより一足先に終了し、荷物をまとめ大キレットを越え、殺生の天場へ。北下尾根は暗く、2人ともフラフラに夏のように水はくぬす。すべり小屋から買った、手はやくシヤブを、シヤブにはいって死んだように目眩に

10/6

おとし遅めに起る。肩から小槍へ。南圃左又左の取付きから左へ。氷で固まった岩をフリーでトラバする。西尾根の途中に下。予てから人並して下におりから、女は尾筋を登り返す。北下から大キレット付くよりほのか舞だし、時間もかかる。大凹角が下だがA2の難しとはなく、慎重にゆたりフリーも不可はいす。しかし秋も景とするとヘルクがたかく、小クワツも下りていけり、油断はする。ル三通り、ル上は海にわか右へ斜りに滑直上して終了。凹角内部から左へ下り、スリッパの足と打つ人エルトと開いておいた気がした。小屋から甘んじ、ルートの後半(孫丸-大槍)はパスして、肩が痛まらぬように下りて下り下り。積雪は思ったよりゴンドラ下りた途程。情性がある、上高地へ。駒がFree上りながらバイク下りへ向かった。

天気も割合はいい、人も少ないので、継続を一成甲地子とがマアと、とともうんじつた。お、継続はかたりかたつし、ほくのおうなFAT CHINESEには特にオススメす。とばかり秋の登攀はサヨウ！

（シヤブ）

「バットレスの思い出」

北岳バットレスは昔から憧れていた岩場の一つだ。期待に胸を振れガッ 広河原からの登りだつくと、1ピッケ目の休憩の時に、作道がハミナリ音の顔をしてゲロゲロと嘔吐した。(しかしその後は調子を取り直し、自根御池の小屋へ。小屋から見上げるバットレスは薄く、すらと雪がつかっている。明日は登れるだろうかと心配になる。

翌日、天気は晴れ。僕と豊田さんは、Cガリー大滝から第4尾根、鞍後へと行くことにした。豊田さんがトックで取っつきから5m位登って1本目のピッケをチンクはうとした時のとき「ラヒー」とも「ヒュー」ともツツ音と豊田さんの呼吸音が根元からボロボロと折れしじまの音。

Cガリー大滝を下り、三野池、作道ガリー、し合谷に第4尾根へ。先行ピッケ一がのぼるのぼる登り、腹心部では一時間半近く待たされた。三野池には豊田さんと僕とでフリークワックでピッケをなすのぼる登り。豊田さんが「ヒューヒュー」などツツ音の音。

そんなこんなで第4尾根も登り、尾根の頂上、鞍後は中絶して、北岳へ登り、下山するころには雨に会った。

下山は帰るからは、小屋のおおじと三野池の行先で、小屋のおおじの焼酎をキコ差し入れ三件がたり、僕等も楽しませてくれた。

やはり、バットレスは好きだ。

— 下平啓夫 —

F party La 飛田 豊田

今平中央公一 a11:b75.7 ~ D22-2 富山大

6 = 10 三, 窓 ○
 6 = 30 取付着 先行 11-75-0117 順番待
 7 = 00 取付
 ↓
 8 = 55 終了 ○
 5p (40m 35m 35m 35m 40m)
 飛 豊 飛 飛 豊

今平の頭で 11-75-
 合流して Ⅱ峰へ向う
 10 = 10 今平飛
 11 = 20 取付着 * 他 11-75- が屋に居るなり
 急ぎ 小野が加わった
 11 = 45 取付 ○

↓
 14 = 45 終了 ○
 6p (20m 20m 40m 40m 40m 40m)
 豊 飛 豊 飛 豊 飛

15 = 10 D22-2 観察 * ビバーク明けで 頭がホー
 15 = 40 BC (1717. 有利調子が上がり/50%)
 ルートは 大赤ばかり

(飛田)

9/1. 下山

- 6:50 ① BC 飛
- 8:40 ① 雪溪を下り真砂
- 9:45 ハシノ段乗越
- 11:00 ① 内蔵之助平
- 2:00 ① 黒野公

↓
 扇沢・松本へ (中村)

25

25

この日は各パーティーに分かれてハッ峰頂峰のABCD各フェイスを登ったあと一度下谷に戻ってから左俣より本峰に登った。左俣をひたすら登り、コルから岩の上を本峰に向かって登った。本峰の頂上は、初めてだったが、わりと広い所だった。しかし、カスがかかっていたので景色はあまり良くなかった。ところが豊田さんが山の説明のために指をさすとみるみるその部分のカスが晴れていった。これは超能力か、念力のためだと思った。帰りはグリセードで下谷まで下ったが、雪がかたく、所々凍っていてびびっていた。でも、ちゃんと熊の岩に着いたので「よかった、よかった。」 (内田)

僕が中谷ルートに登ったこと by みっちゃん

前日、私は寝込んでしまい、この日も体調はよくなかった。1日目 出だしのトップでは、とても体が重く、AOでも抜けられない。いったん、クラムタウンにて、ナッツをセットして、やっここえる。2日目 トップ。下田って、いい君は、なかなか“OPEN!”と叫んでくれない。かれこれ1時間もビレーして私は頭にきた。“なにしてんねん。”と怒鳴りそうになった時、ハーネスを打つ音がする。“OPEN!” 登っていくと、どうも難しい。体調のせいでは、ないようだ。どうもルートを間違えたようだ。10m程恐怖の6級草つき岩混じりクラムをしたあと、ボルトを2本カンカンと20分ぐらいで打ち込んで懸垂。“25mで足りるわ。”と下田下りて行くが、どうも空中ブランコになったようで、やっ下りる。洞くつテラスで休けい。2人とも疲れてしまつて、大岩溝では、下田がボルトを引き抜き、アリアリ怒っていた。やっ終了点に出た時は P.M. 2:05分。30分ぐらい 技無遠松のやぶこぎをして、やっ源治郎の主後へ。雨は降ってくるわ。下田の“みっちゃんす” 26
るいよー。”もあまり出なかった。最高の1日だった。